

ネットワークでいけす管理

アイティ
アクセス チョウザメ養殖実証

【横浜】アイティア
クセス（横浜市港北
区、高橋尚社長、04
5）は、QTnet（福岡市中央区、09
2・981・7557）と共同で、ネット
ワークを活用したチョウ

ウザメの養殖場管理サービスの実証実験をする。いけす管理の負担を軽減するサービスの商品化を目指す。

富崎県山間部のチョウザメ養殖場で実施する。低電力で通信可能な帯域を使うLPWAネットワークの「ZETA」を使う。水温や水位など養殖管理に必要なデータを計測してクラウドに蓄積する。

ZETAは広域での分散アクセスや超狭帯域での多チャンネルの通信、双方向での低消費電力通信などに優れており、通信や電源インフラのない山間部でもリアルタイムで遠隔監視できる。

アイティアクセスは今後もIOT（モノのインターネット）から収集したデータを人工知能（AI）で分析し、関連情報サービスとコラボレーションの提供を目指す。